



2022年3月期決算及び中長期ビジョン2028説明会

2022年5月31日

能美防災株式会社 **NOHMI**

期待の先をカタチに



transformation

1. 2022年3月期 連結決算概要

受注高は過去最高を記録した前期から微減

前期を超える高い目標に向けて取り組んできたが、前期に大型物件が集中した消火設備セグメントが大きく減少。しかし全体としては前期比微減にとどまった

売上高、利益ともに前期比増加、期初予想比未達

期初予想には未達だが、比較的採算性の高い大型案件の寄与などにより、売上高、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は過去2番目の高水準

営業利益率は引き続き高水準

営業利益率は前期比で1ポイント向上（10.2%→11.2%）
中期経営計画の目標どおり10%以上を維持

2022年3月期 連結業績

(百万円)

	2021/3	2022/3		前期比		計画比	
	実績	計画	実績	増減額	増減率	増減額	増減率
受注高	113,308	122,000	110,948	△2,360	△2.1%	△11,051	△9.1%
売上高	107,897	120,800	112,913	+5,016	+4.6%	△7,886	△6.5%
売上原価率	67.4%	66.9%	65.7%	△1.7Pt	—	△1.2pt	—
売上総利益	35,127	39,950	38,762	+3,635	+10.3%	△1,187	△3.0%
販管費	24,073	26,450	26,128	+2,055	+8.5%	△321	△1.2%
営業利益	11,053	13,500	12,633	+1,579	+14.3%	△866	△6.4%
売上高営業利益率	10.2%	11.2%	11.2%	+1.0pt	—	±0.0pt	—
経常利益	11,494	13,800	13,155	+1,660	+14.4%	△644	△4.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,620	9,300	9,351	+1,730	+22.7%	+51	+0.6%
EPS (円)	126.38	154.22	155.07				
ROE	7.7%	9.1%	8.8%				

セグメント別売上高・利益

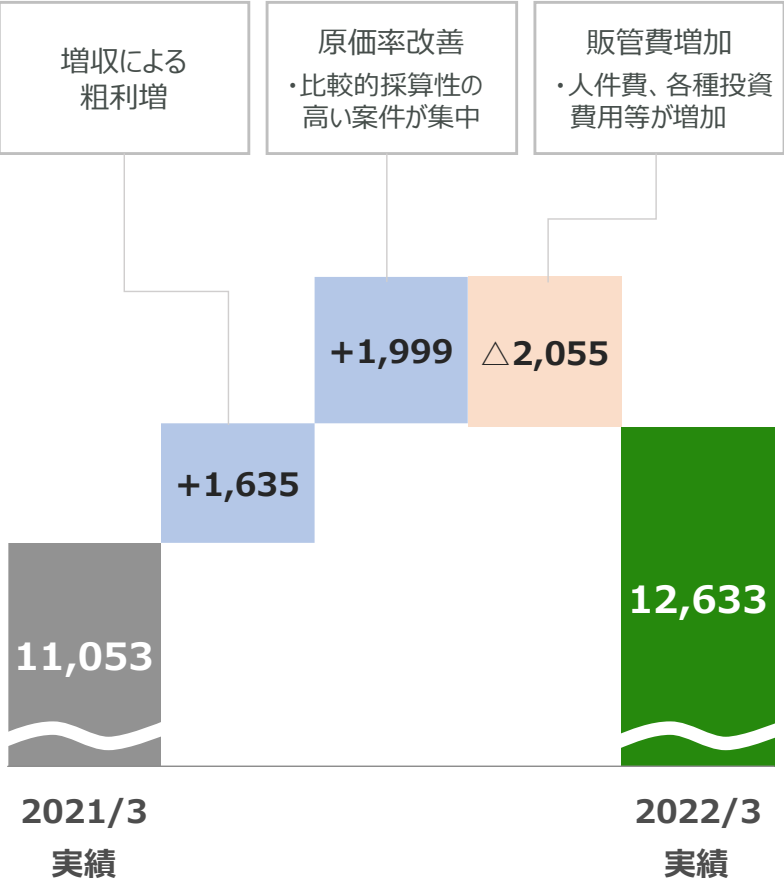
(百万円)

		2021/3	2022/3		前期比	計画比
		実績	計画	実績	増減額	増減額
火災報知設備	売上高	38,039	46,077	42,100	+4,060	△3,977
	セグメント利益	5,979	9,114	8,617	+2,638	△497
	(利益率)	(15.7%)	(19.8%)	(20.5%)	(+4.7pt)	(+0.7pt)
消火設備	売上高	38,481	42,205	39,715	+1,234	△2,490
	セグメント利益	6,568	6,710	7,197	+629	+486
	(利益率)	(17.1%)	(15.9%)	(18.1%)	(+1.1pt)	(+2.2pt)
保守点検等	売上高	26,688	27,270	26,300	△387	△970
	セグメント利益	5,392	5,161	4,854	△538	△307
	(利益率)	(20.2%)	(18.9%)	(18.5%)	(△1.7pt)	(△0.5pt)
その他	売上高	5,038	5,595	5,120	+81	△475
	セグメント利益	253	200	46	△207	△153
	(利益率)	(5.0%)	(3.6%)	(0.9%)	(△4.1pt)	(△2.7pt)
消去または全社	売上高	△349	△349	△322	+27	+27
	セグメント利益	△7,140	△7,687	△8,081	△941	△394
連結	売上高	107,897	120,800	112,913	+5,016	△7,886
	営業利益	11,053	13,500	12,633	+1,579	△866

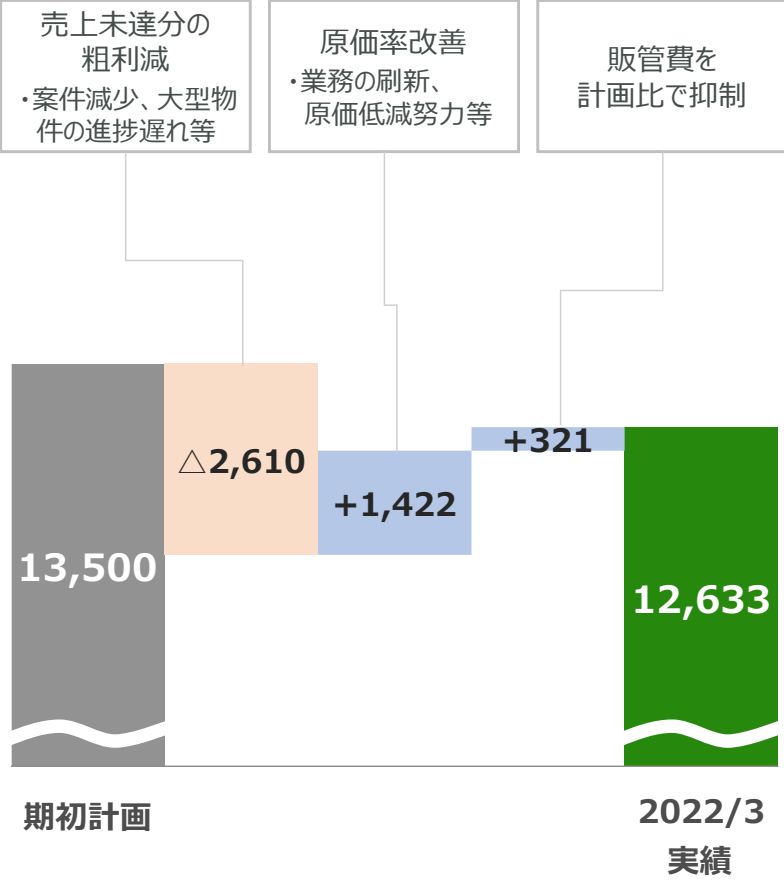


営業利益増減分析

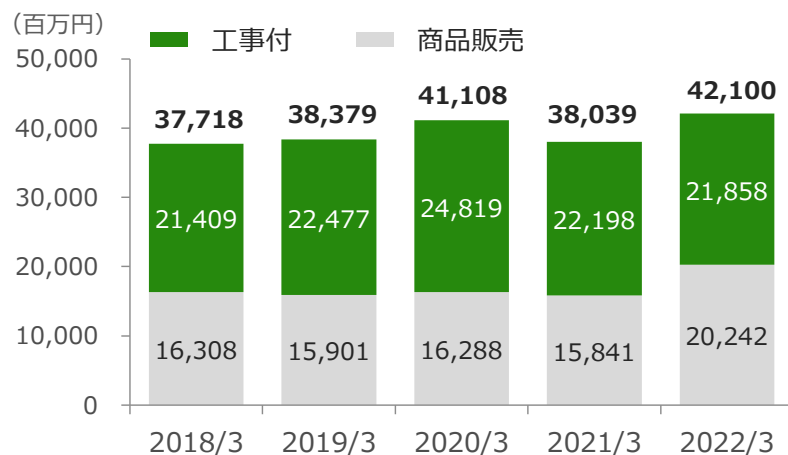
対前期比 (百万円)



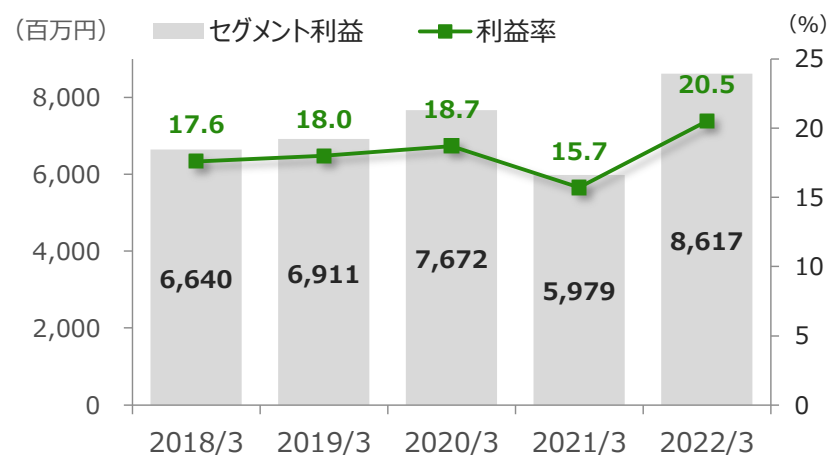
対計画比 (百万円)



売上高（消去前）



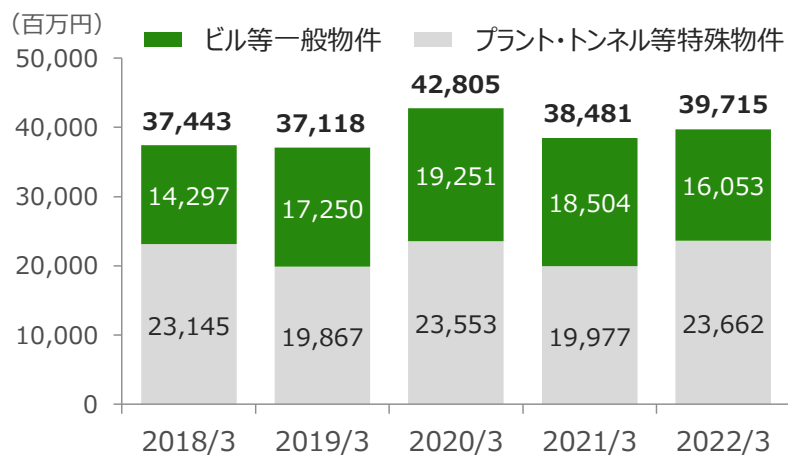
セグメント利益／利益率



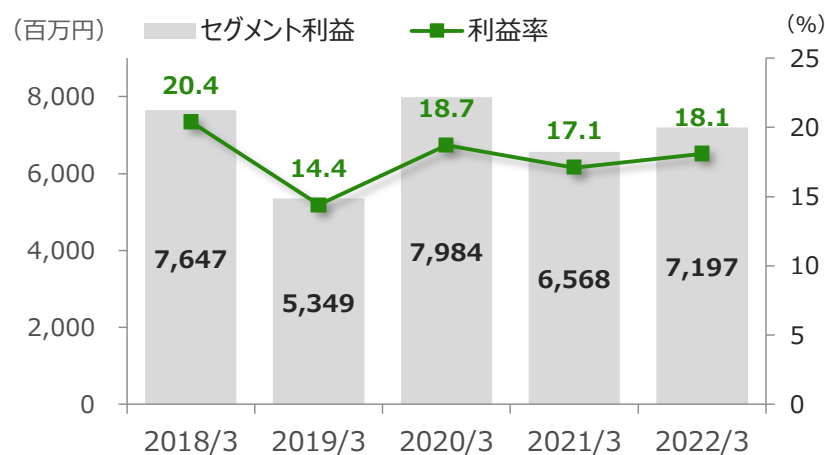
(百万円)		2021/3	2022/3		前期比 (%)	計画比 (%)
		実績	計画	実績		
受注高		37,466	47,900	45,169	+20.6	△5.7
受注残高		11,243	—	12,550	+11.6	—
売上高		38,039	46,077	42,100	+10.7	△8.6
	工事付	22,198	23,407	21,858	△1.5	△6.6
	商品販売	15,841	22,670	20,242	+27.8	△10.7
セグメント利益		5,979	9,114	8,617	+44.1	△5.5

- 比較的採算性の高い案件が集中したことなどから、売上高、利益、受注高のいずれも過去最高の水準を記録。
- 見込んでいた案件が減少したことなどにより、高水準ながら計画は未達。

売上高（消去前）



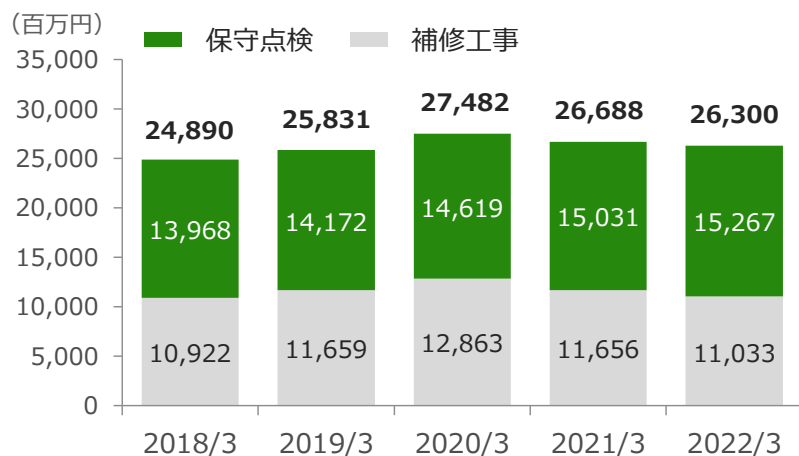
セグメント利益／利益率



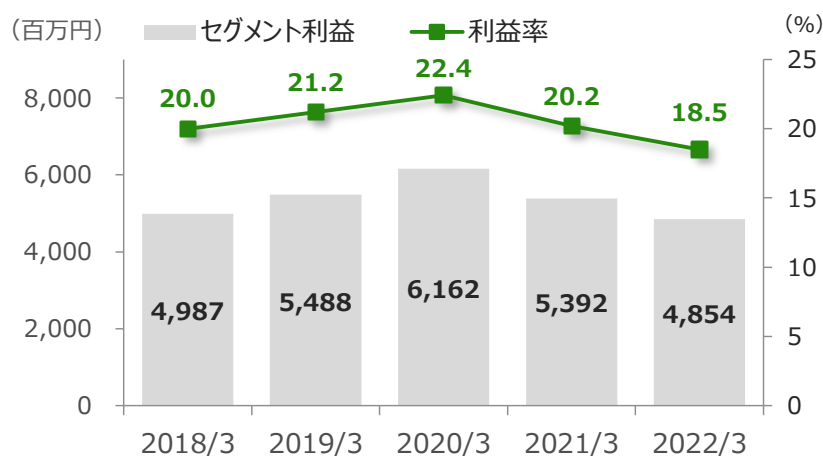
(百万円)		2021/3	2022/3		前期比 (%)	計画比 (%)
		実績	計画	実績		
受注高		44,469	41,200	33,163	△25.4	△19.5
受注残高		40,187	—	32,080	△20.2	—
売上高		38,481	42,205	39,715	+3.2	△5.9
	一般物件	18,504	17,475	16,053	△13.2	△8.1
	特殊物件	19,977	24,730	23,662	+18.4	△4.3
セグメント利益		6,568	6,710	7,197	+9.6	+7.3

- 売上高は、一部工事の進捗遅れなどから想定ほどは伸びなかったが、前期比では増加。
- 引き続き原価低減等に努め、利益は堅調に推移。計画も上回る。
- 受注高は、特殊物件を中心に前期の水準が高かったことなどから減少。

売上高（消去前）



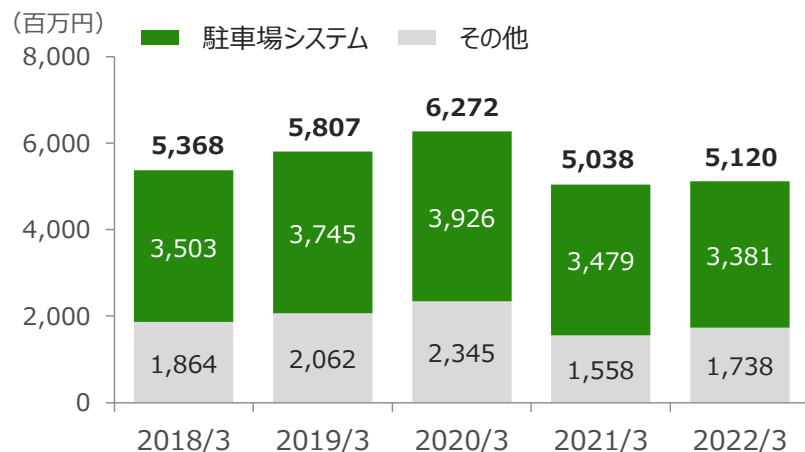
セグメント利益／利益率



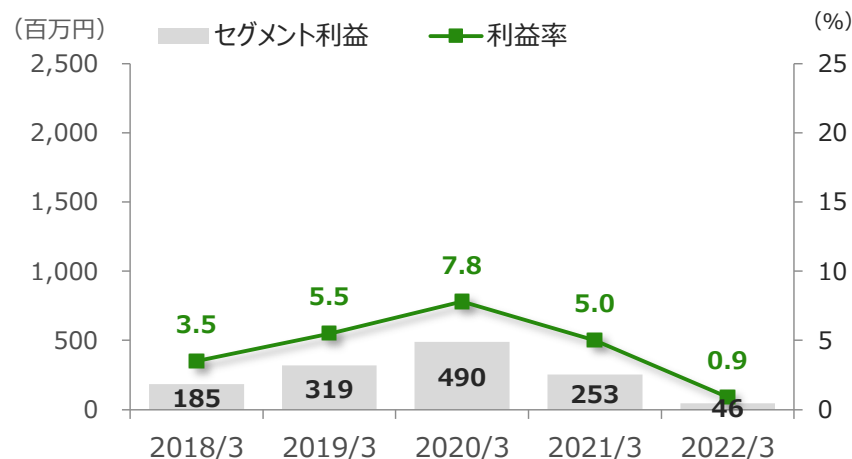
(百万円)	2021/3	2022/3		前期比 (%)	計画比 (%)
	実績	計画	実績		
受注高	26,436	27,700	27,067	+2.4	△2.3
受注残高	3,773	—	4,364	+15.6	—
売上高	26,688	27,270	26,300	△1.5	△3.6
保守点検	15,031	15,000	15,267	+1.6	+1.8
補修工事	11,656	12,270	11,033	△5.4	△10.1
セグメント利益	5,392	5,161	4,854	△10.0	△5.9

- 売上高、受注高ともに、安定的に推移。
- 補修工事において、やや採算性の低い物件が多く、利益率は低下。

売上高（消去前）



セグメント利益／利益率



(百万円)		2021/3	2022/3		前期比 (%)	計画比 (%)
		実績	計画	実績		
受注高		4,936	5,200	5,547	+12.4	+6.7
受注残高		840	—	1,409	+67.7	—
売上高		5,038	5,595	5,120	+1.6	△8.5
	駐車場システム	3,479	3,710	3,381	△2.8	△8.9
	その他	1,558	1,885	1,738	+11.5	△7.8
セグメント利益		253	200	46	△81.6	△76.7

- コロナ禍のなか、売上高はほぼ横ばい。利益は引き続き厳しい状況。
- 受注高は堅調に推移。

期待の先をカタチに



transformation

2. 能美防災グループ 中長期ビジョン2028 ～ 期待の先をカタチに ～



中長期ビジョン2028

2020年3月期
～2022年3月期

ステージⅠ
前中期経営計画

2023年3月期
～2025年3月期

ステージⅡ
新中期経営計画

2026年3月期
～2029年3月期

ステージⅢ

...

スタートにあたって、中長期ビジョンステートメントを策定。
長期的に目指す方向性を明確化。

※中長期ビジョンステートメントについてはP15を参照

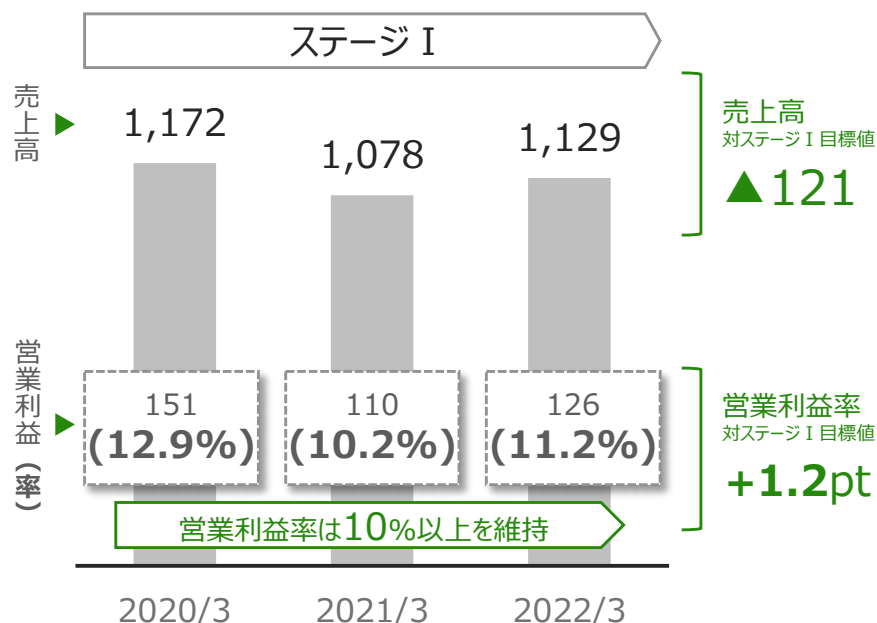
強靱な「現場力」を礎に飛躍的成長へ

重点方針

①人財力の向上 ②事業構想力・遂行力/オペレーションの精度とスピードの向上 ③グループ経営の強化

連結売上高・営業利益(率)推移

(単位：億円)



出来たこと

- 誰もが挑戦志向を持って明るく元気にイキイキと働ける風土が醸成されてきた
- アクションプランのPDCAサイクル徹底によってKPIマネジメントが根付いた
- エンゲージメントサーベイによって定性面での改善活動が根付いた
- 移動制限下におけるデジタル化の加速によって場所を選ばない働き方の導入が進んだ
- クロストレーニング制度なども活用し人財のスキル向上を計画的に行うことが一部の部門で根付いてきた
- キャリアプランの可視化によって人財の計画的育成が強化された

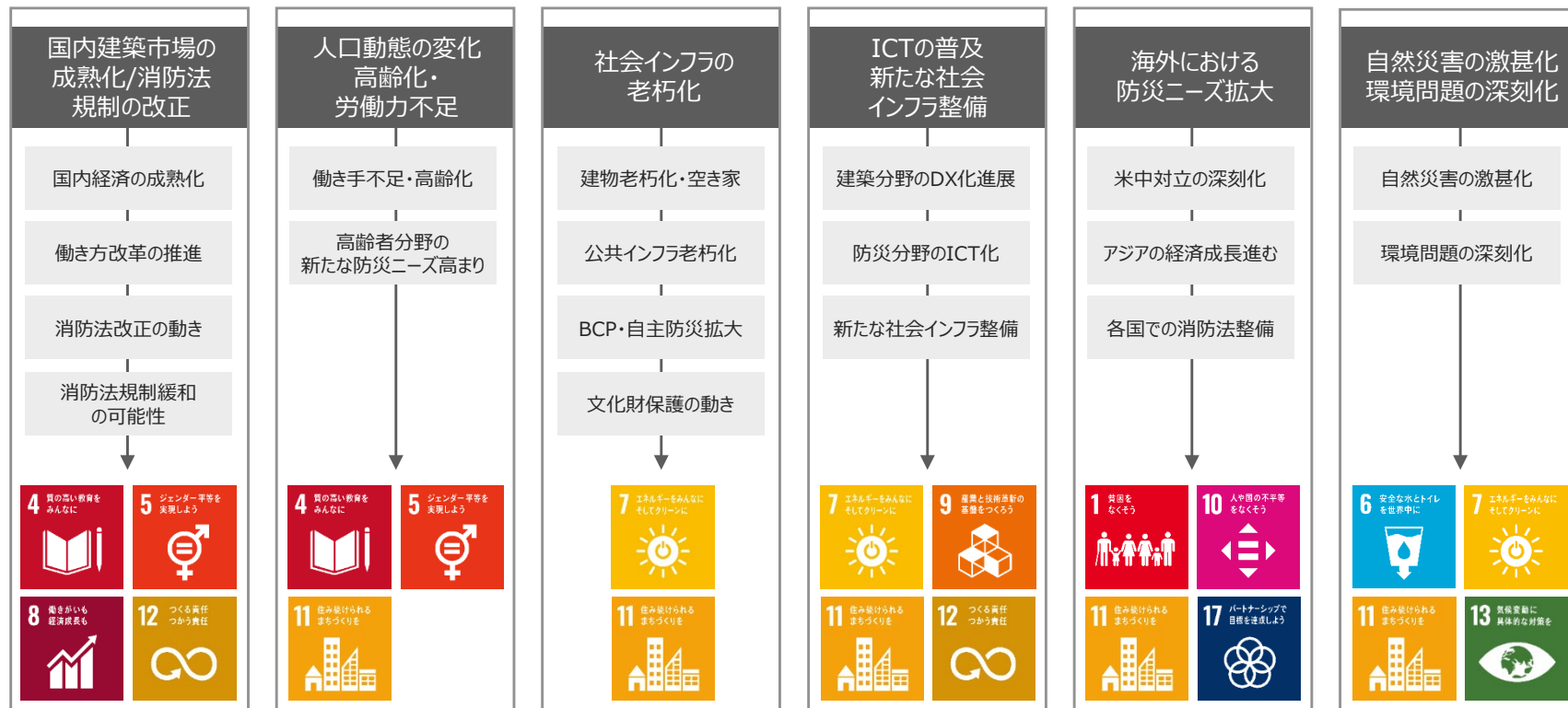
課題が残ったこと

- 新領域探索でも既存領域深耕でも新しいチャレンジが許容される仕組みづくり
- 海外事業の強化（コロナによる渡航規制で足踏み）
- 工事、メンテナンス部門を中心とした残業削減対策
- 無駄な業務を取り止めて効率を上げるための業務の棚卸し
- ローテーションによる多能工化
- 既存領域深耕だけでなく新領域拡大にも合致した人事評価制度への移行

外部環境認識

社会動向、変化・課題

該当項目
主なSDGs



ありたい
社会像

自社の
ありたい姿

大切な命や財産・環境を守り、誰もが笑顔で暮らせる社会を実現する

既存事業領域を中心に
独自防災システムを提供

お客様の課題を起点に
最適防災ソリューションを提供

防災監視のあらゆるシーンで
お客様の課題解決を支援

高齢化・人手不足に対応した
施工・メンテナンス体制確立

総合防災メーカーとして
災害全般へ事業領域拡大



中長期ビジョンステートメント

期待の先をカタチに



transformation

「**期待の先**」にある安全を「**カタチ**」にし、
誰もが笑顔で暮らせる社会を実現する

大切な命や財産・環境を守り、誰もが安全を享受し笑顔で暮らせる社会を実現します。

そのために「**期待の先**」にある安全を、お客様とともに「**カタチ**」にしていき、
あらゆる場所へ届け、防災を常にリードしていく会社でありたい、それが私たちの思いです。

一人ひとりが「防災事業のパイオニアとしての使命」を自覚して、
能美グループを支えてくださる皆様の声に真摯に耳を傾け「**期待の先**」を感じ取る
洞察力を磨きながら探究心を持って活動していくことで目標を実現していきます。



<中長期ビジョンステートメント>

期待の先をカタチに



transformation

「期待の先」にある安全を「カタチ」にし、誰もが笑顔で暮らせる社会を実現する

自社のありたい姿

➡ 1

既存事業領域を
中心に独自防災
システムを提供

➡ 2

お客様の課題を
起点に最適防災
ソリューションを提供

➡ 3

防災監視のあらゆる
シーンでお客様の
課題解決を支援

➡ 4

高齢化・人手不足に
対応した施工・
メンテナンス体制確立

➡ 5

総合防災メーカー
として災害全般へ
事業領域拡大

中長期ビジョンステートメント実現に向けて

「期待の先」にある安全を「カタチ」にするために

人財・組織の知向上

飛躍的成長への人事戦略



個人と会社の成長サイクルを加速させ、
飛躍的成長を実現する

⇒P20参照

お客様との共創

未来共創プロジェクト



お客様への提案のカタチを変革し
提供価値を向上させる

⇒P18参照

成長への投資

未来投資計画



未来に向けた研究開発・M&A・設備・
人財・環境投資を計画

⇒P21参照

デジタルトランスフォーメーション（DX）

⇒P22参照

安定した製品・サービス供給体制をより強固にするサプライチェーンの実現

サステナビリティ経営推進による企業価値向上を前提とした課題対応

⇒P23参照

より高い付加価値を創造できる企業への変革

「未来共創プロジェクト」を中心とした社会課題の解決

「期待の先」にある安全を「カタチ」にするために

飛躍的成長への人事戦略

未来共創プロジェクト

未来投資計画



事業の深耕と探索

(既存領域の深耕と新領域の探索)

既存領域・新領域ともに、ソリューションの卵を創出し、育成し続ける活動を仕組みとして根付かせ、次世代の柱となる事業へ成長させる

社会課題の
解決を前提に
視座を高く

アイデアが
出続ける仕組み
を構築

アイデア育成を
応援し続ける
風土醸成

事業化に向けた継続的な投資



提案型人財の育成

お客様が「あったらいいな」と感じている期待の先を洞察し、自社の技術力・可能性や、他社の技術との紐づけからソリューションを創出できる人財を育成する

お客様の
本質的な課題
を洞察する力

0 から 1 を
発想する力

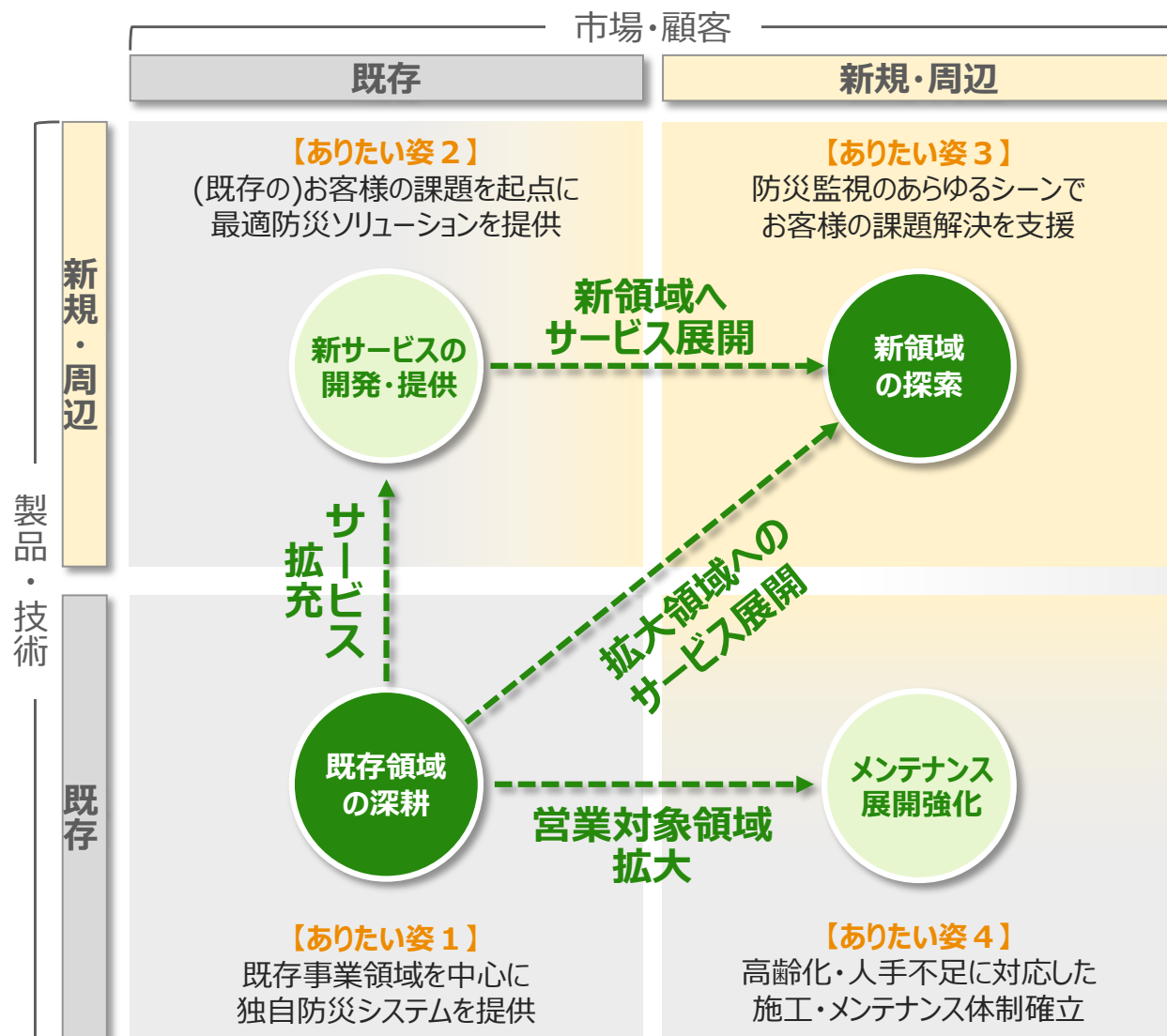
課題と技術
との紐づけが
できる力

能動的に動く

提供価値向上

社会課題の解決力向上

事業戦略 ～基本的な方向性～



ありたい姿5

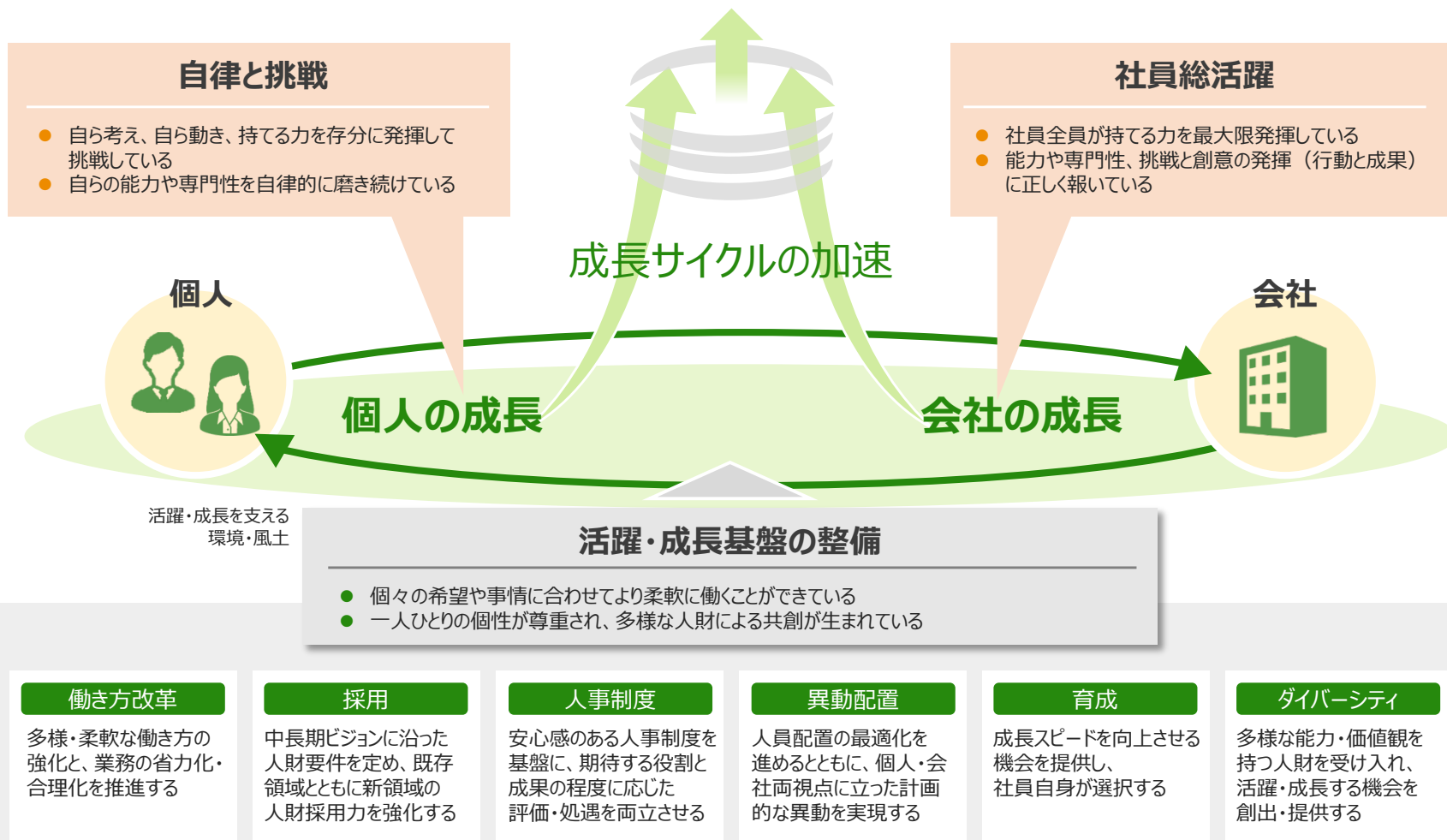
総合防災メーカー
として災害全般へ
事業領域拡大



「期待の先」にある安全を「カタチ」にするために

目指す姿

方針





「期待の先」にある安全を「カタチ」にするために

未来投資計画

ステージⅡ（2023/3～2025/3）

研究開発

成長投資・M&A・基盤整備

人財投資

サプライチェーン強化
環境投資

対売上高比率：3%※

投資額：300億円

※2029/3期 時点



「期待の先」にある安全を「カタチ」にするために

防災・安全のあり方を変革

期待の先をカタチにしたソリューション提案

⇒ デジタルトランスフォーメーション（DX）

ステージⅡ（2023/3～2025/3）

ステージⅢ（2026/3～2029/3）

サービスのカタチ変革

- ・クラウドを起点としたサービス展開拡充
- ・クラウドを起点としたつながる製品群を整備

お客様対応変革

- ・点検要員省力化に向けたシステム構築への取り組み
- ・施工要員省力化に向けたシステム構築への取り組み

社内デジタル化による間接部門の合理化

- ・全社ペーパーレス化 etc…

⇒ 基盤強化

クラウドプラットフォーム強化・クラウド運用/提案型サービス提供体制の強化・個人スキル向上

サステナビリティ経営推進による企業価値向上を前提とした課題対応

大切な命や財産・環境を守り、誰もが笑顔で暮らせる社会を実現するために

環境 E



- 省エネルギー・再生可能エネルギー対応
- グリーン調達推進・環境に配慮した原材料選定
- 脱フッ素への取り組み推進
- 温室効果ガスの発生抑制
- 廃棄物排出量の削減・再生資源利用率向上

社会 S



- 安全・安心の追求により顧客満足の上昇
- 文化財防災への取り組み推進
- 品質管理の徹底で品質事故ゼロの実現
- 安全衛生の徹底で労災ゼロ実現・健康経営の推進
- 協力会社との協働強化で持続的成長の実現
- ダイバーシティ&インクルージョン・ワークライフバランスの推進
- 社員教育強化や多様な働き方推進による自己実現機会の拡大

ガバナンス G



- コーポレート・ガバナンス／内部統制の徹底
- リスクマネジメント
- コンプライアンス

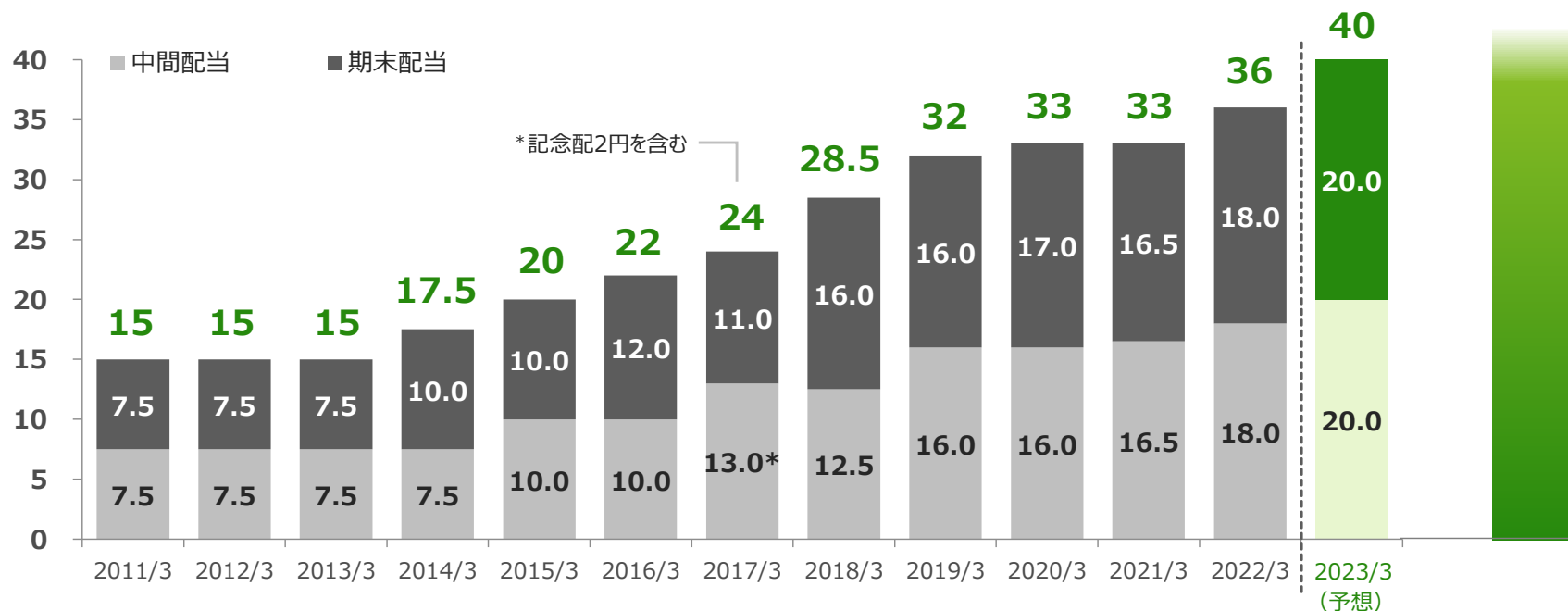
ステージⅡ期間の2025/3期までに連結配当性向を40%とすることを目標とし、
 安定的かつ継続的な株主還元の充実を目指します。

1株あたり配当金の推移 (単位：円)

* 1979/3期以降、特別配当を除き減配をしていません。

ステージⅡ期間
 (2023/3～2025/3)

連結配当性向
40%を目指す



配当性向	48.5%	50.6%	31.4%	21.9%	21.4%	20.0%	20.8%	18.8%	24.7%	18.9%	26.1%	23.2%	33.7%
------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

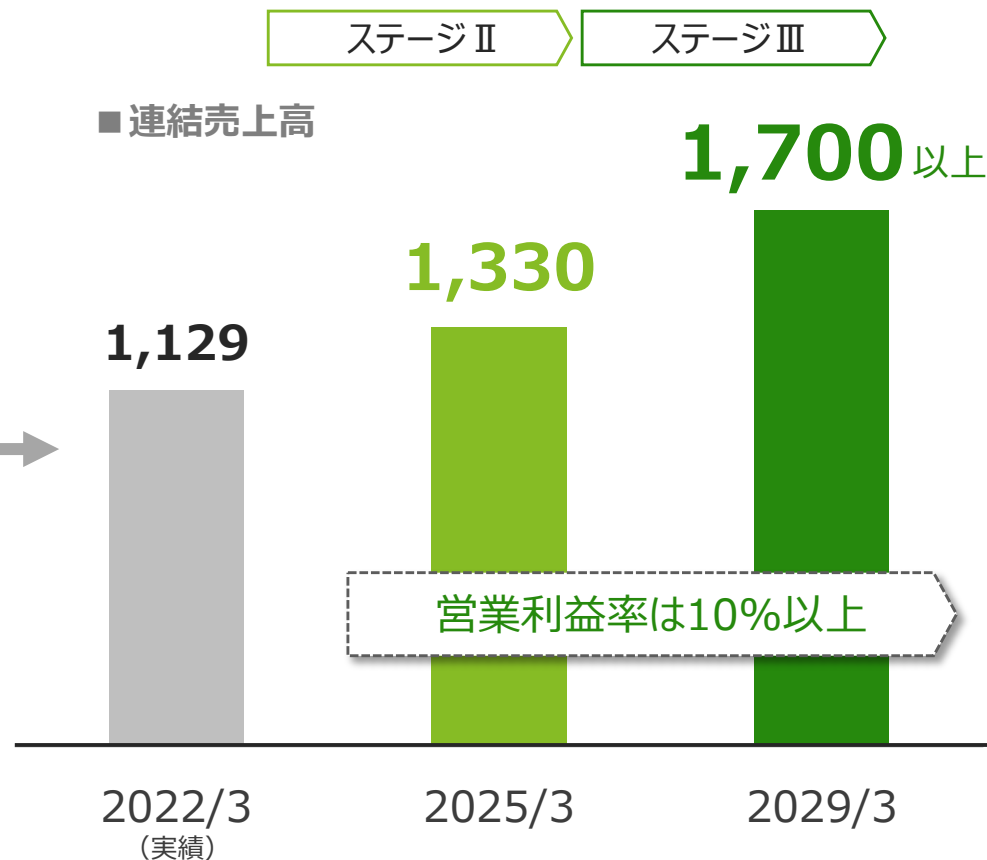
中長期経営目標

(単位：億円)

(単位：億円)

	2022/3 (実績)
受注高	1,109
売上高	1,129
営業利益 (利益率)	126 (11.2%)
経常利益	131
親会社株主に帰属する 当期純利益	93
ROE	8.8%

■ 連結売上高



期待の先をカタチに



transformation

3. 2023年3月期 連結業績予想

2023年3月期 連結業績予想

(百万円)

	2022/3	2023/3	前期比	
	実績	予想	増減額	増減率
受注高	110,948	112,000	+ 1,051	+ 0.9%
売上高	112,913	111,000	△1,913	△1.7%
売上総利益	38,762	36,700	△2,062	△5.3%
(利益率)	(34.3%)	(33.1%)	(△1.2pt)	—
販管費	26,128	26,600	+ 471	+ 1.8%
営業利益	12,633	10,100	△2,533	△20.1%
(利益率)	(11.2%)	(9.1%)	(△2.1pt)	—
経常利益	13,155	10,400	△2,755	△20.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,351	7,150	△2,201	△23.5%
EPS (円)	155.07	118.57		
ROE	8.8%	6.5%		

受注高は前期並みを想定

部品の供給制約による影響が懸念されるなかでも、
前期並みの受注高を目指す

前期に好採算の案件が集中した影響などから減益

前期は比較的採算性の高い案件が集中
原材料価格の上昇の影響なども懸念される

中長期ビジョン2028の達成に向けて体制整備

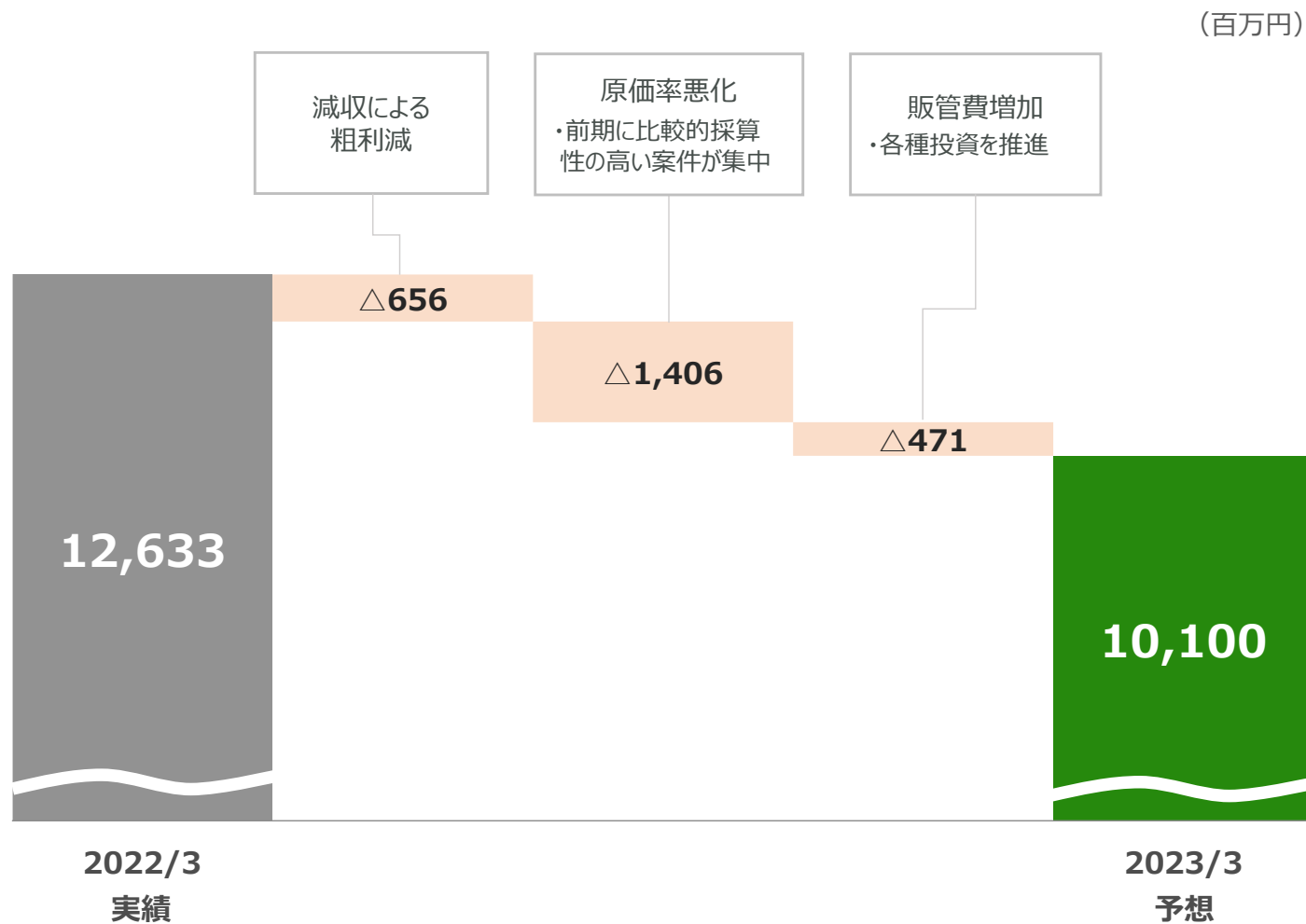
厳しい環境のなか、各種投資を進めながらも100億円以上の営業利益は堅持
2029年3月の連結売上高1,700億円に向けて体制を整える

セグメント別売上高・利益予想

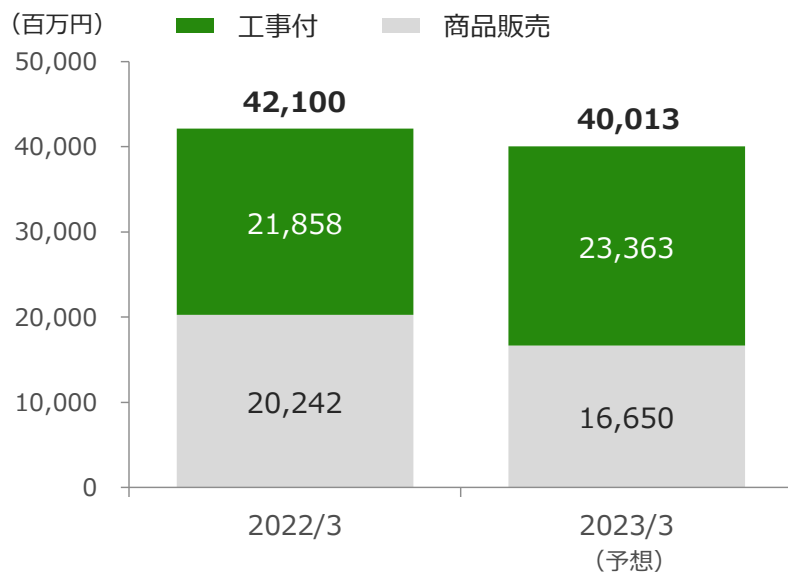
(百万円)

		2022/3	2023/3	前期比	
		実績	予想	増減額	増減率
火災報知設備	売上高	42,100	40,013	△2,086	△5.0%
	セグメント利益	8,617	6,707	△1,910	△22.2%
	(利益率)	(20.5%)	(16.8%)	(△3.7pt)	—
消火設備	売上高	39,715	37,618	△2,097	△5.3%
	セグメント利益	7,197	5,837	△1,359	△18.9%
	(利益率)	(18.1%)	(15.5%)	(△2.6pt)	—
保守点検等	売上高	26,300	27,690	+1,390	+5.3%
	セグメント利益	4,854	5,625	+771	+15.9%
	(利益率)	(18.5%)	(20.3%)	(+1.9pt)	—
その他	売上高	5,120	6,000	+880	+17.2%
	セグメント利益	46	132	+85	+183.0%
	(利益率)	(0.9%)	(2.2%)	(+1.3pt)	—
消去または全社	売上高	△322	△322	—	—
	セグメント利益	△8,081	△8,202	△120	—
連結	売上高	112,913	111,000	△1,913	△1.7%
	営業利益	12,633	10,100	△2,533	△20.1%

営業利益予想増減分析

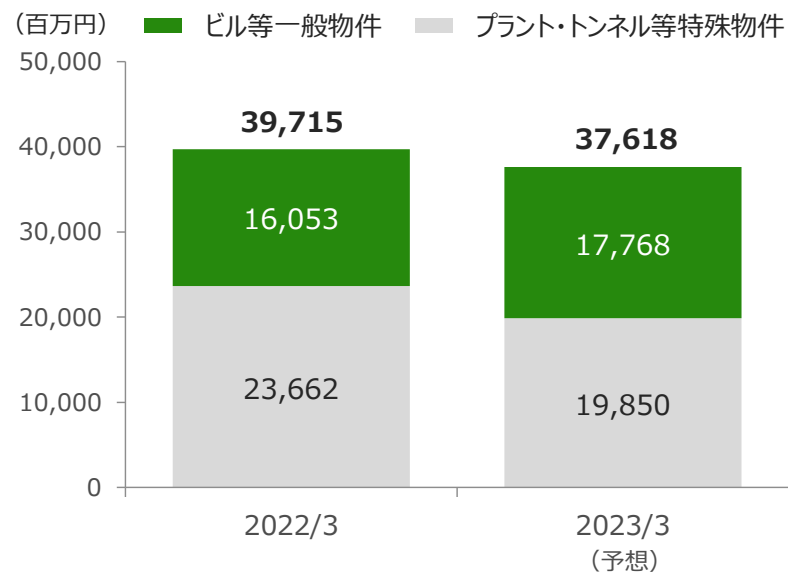


火災報知設備



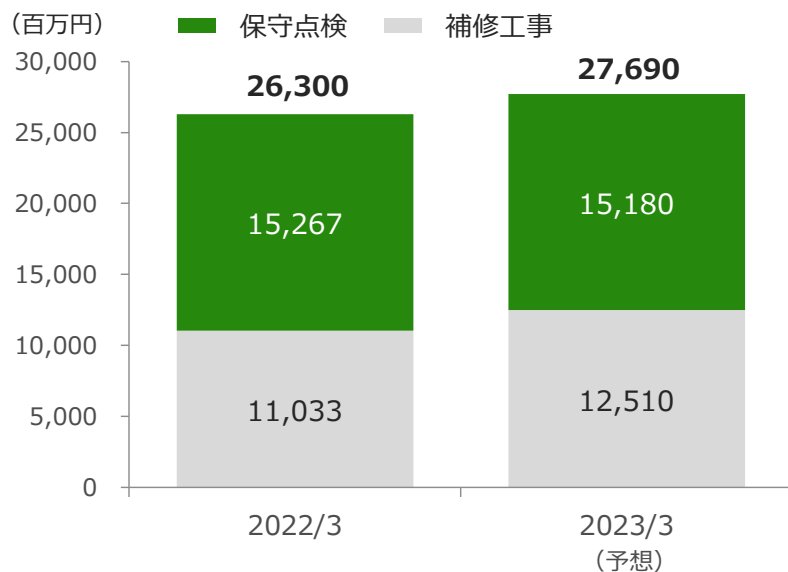
- 前期に大型案件が集中した影響などから、減収の見込み。

消火設備



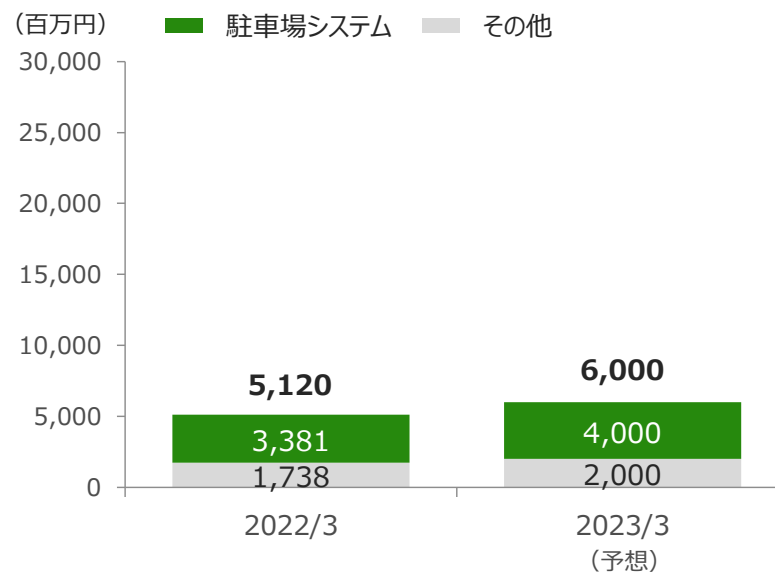
- 大型物件の減少から減収の見込み。
次期の増収につなげるため受注獲得に努める。

保守点検等



- 補修工事の計上を積み上げることなどにより、安定的な業績の伸長を見込む。

その他



- コロナ禍のなか厳しい状況が続いているが、一定の回復を見込む。

期待の先をカタチに



transformation

4. 参考資料



防災システムを一貫体制で提供する総合防災企業

➤ 商号	能美防災株式会社
➤ 本店所在地	東京都千代田区九段南四丁目 7 番 3 号
➤ 設立	1944 [昭和19]年 5月 5日 ※創立は1916年 [大正5年] 12月
➤ 代表者	代表取締役社長 岡村 武士
➤ 資本金	13,302百万円 ※2022年3月末
➤ 従業員数	2,635名 <連結> ※2022年3月末
➤ 事業内容	防災に関する受託実験・企画・提案 各種防災設備、システムの企画、開発、設計、施工、保守 上記機器の設計、製造、販売 駐車場車路管制システムの設計、製造、施工、販売及び保守

創立100周年

- 2022 東京証券取引所プライム市場に上場
- 2021 VRコンテンツ「火災臨場体験VR～混乱のオフィス～」をリリース
- 2019 クラウド型防災支援ソフト「TASKis」を発売
- 2018 中・大規模建物向け防災システム「R-26C」を販売開始
- 2017 妻沼東事業所に、展示施設「能美テクノロジーメヌマ」を開設、メヌマ工場を拡大
- 2016 消火剤噴霧自動消火システム「SPlashα」を販売開始
- 2014 「リング型表示灯付発信機」がグッドデザイン金賞を受賞
- 2013 画像処理煙検知システムを販売開始
- 2010 三郷市に研究開発センターを開設
- 2009 火災予兆検知システム「PROTECVIEW」を販売開始
- 2006 セコム株式会社を引受先とする第三者割当増資を実施
- 2004 住宅用火災警報器「まもるくん10」を販売開始
- 2002 自動試験機能付P型自動火災報知システム「進P」を販売開始
- 1995 中国に合併会社「北京能美西科姆消防設備有限公司」を設立
- 1991 東京証券取引所市場第一部に指定替え
- 1987 青函トンネルに防災設備、瀬戸大橋に消火設備を設置
- 1974 LNG基地防災システムを開発
- 1968 霞が関ビルディングに防災設備を設置 <超高層ビルとして国内初>
- 1962 名神高速道路の梶原・天王山トンネルに防災設備を設置 <高速道路トンネルとして国内初>
東京証券取引所市場第二部に上場
- 1936 皇居に火災報知設備を設置
- 1933 三十三間堂に火災報知設備を設置 <国宝として国内初>
- 1924 前年の関東大震災を契機に自動火災報知機による防災事業開始
- 1916 能美輝一、能美商会を創立

株式上場

創立



<R-26C>



<能美テクノロジーメヌマ>



<メヌマ工場>



<研究開発センター(三郷)>



<リング型表示灯付発信機>



<PROTECVIEW>



<能美輝一>



<宮中奥御殿（皇居）完工記念>



火災報知設備

自動火災報知設備、環境監視システム、防火・防排煙設備等の製造販売及び取付工事を実施

【主要営業品目】

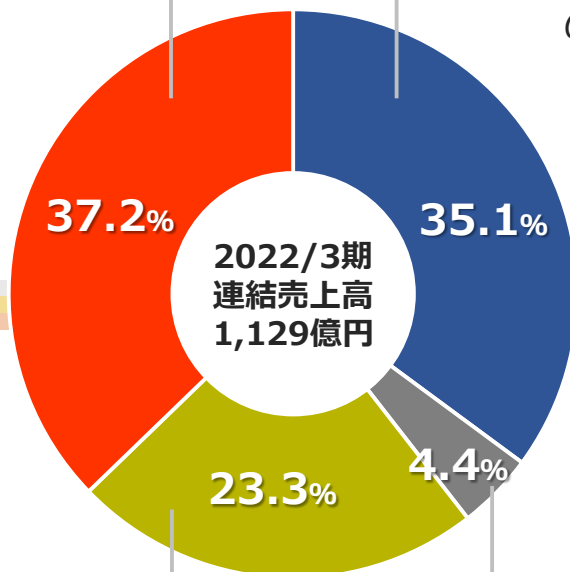
- 火災報知設備
- ガスもれ警報設備
- 避難誘導設備
- 環境監視システム
- 防火・防排煙設備
- 非常用放送設備
- 住宅防災システム

消火設備

スプリンクラー設備、泡消火設備、プラントやトンネルの防災システム等の製造販売及び取付工事を実施

【主要営業品目】

- スプリンクラーなど消火設備
- プラント防災システム
- トンネル防災システム



各種防災機器に係る
保守点検・補修業務

保守点検等

駐車場車路管制システムの
取付工事・保守 等

その他

総合防災力

➤ 研究・開発 ⇒ 製造 ⇒ 営業・設計 ⇒ 施工 ⇒ メンテナンスまで
一貫した責任体制でのサービスを全国に提供可能

一貫した責任体制



➤ 幅広い品揃えにより、様々な施設、
防災ニーズに対応が可能

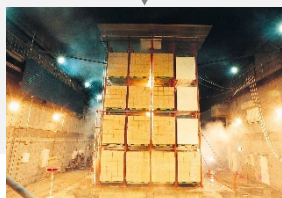


長い社歴の中で強みが磨かれた5つの要素

- 1 総合防災に関する開発、設計、施工等の『**技術力**』
- 2 豊富な実験により蓄積された火災に関する『**ノウハウ**』
- 3 細かな工程管理や対応等、ハイレベルな『**施工力**』
- 4 実績とともに築かれた関係各所からの『**信頼**』
- 5 日本全国に敷かれた充実した『**代理店網**』

※あらゆる火災発生状況を想定したシミュレーション

ラック式倉庫
火災実験



自動車塗装ブース
火災実験



高発泡消火実験



煙の流動実験



クリーンルームでの
発煙実験





本説明資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、
能美防災およびグループ各社が現時点で入手可能な情報に基づいており、
この中には潜在的なリスクや不確定要素も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向等により、
本資料における業績見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。